

* * * * *

考える時間の保証

子育てをしていると、無意識に声をかけていることはありませんか？ルーティンのように。「ちゃんと食べて」「ほら前見て」「そっちはぬれちゃうよ」「何してるの？」「こっちの方が危なくないんじゃない？」

自分が1日に何回ぐらいこのような声をかけているのか意識してみると、まあまあ数の声をかけているのではないでしょう。

それは子どもが失敗しないように、困らないように、先回りして助けてあげる親心でもありますね。でも、子どもは自分でやってみて、「あー、こうやるとこうなるのか。じゃあ次はこうやってみよう」と静かに試行錯誤しているもの。経験から得た情報は、これから先、生きていくうえでゆるぎない自信につながります。親の先回りは、その大事な試行錯誤をストップさせる言葉になってしまうかもしれません。

この「声かけ」本当に必要な、と一度立ち止まってみませんか？そう意識すると、子どもが今何を考えているのか観察するようになり、静かな時が流れ、「自分で考える時間」が増えるかもしれません。自分で失敗したことは自分の責任という経験ができ、次の工夫にもつながり、チャレンジ精神が育つ土壌も培われていきます。

* * * * *